

【3-2】日常生活支え合い実践事業

認知症高齢者見守り事業 (越前町)



基礎情報

| | |
|------|--------------|
| 実施地域 | 越前町 |
| 実施主体 | 越前町 |
| 所在地 | 越前町西田中13-5-1 |
| 代表者 | 町長 内藤 俊三 |

事業概要

- ・介護認定を受けていない人も含め、軽度の認知症のある高齢者を対象に、拠点施設に於いて見守りを行い、高齢者が持っている能力を維持しながら、少しでも症状の進行を遅らせ、安心して日常生活を送ることが出来るよう支援を目的。
- ・越前町シルバー人材センターへ事業委託

現在の活動状況

- ・当該高齢者に対するふれあいの場を提供。
「幸若苑」(老人福祉センター) 月～金曜日 9時～15時
「織田保健福祉センター」 月曜日・金曜日 9時～15時
- ・内容・・・当該高齢者が、調理などの活動を通して交流する。
- ・当該高齢者が現在もてる能力を維持するため、調理活動用調理器具等を購入し、気軽にくつろげる雰囲気をつくる。
- ・体の体操・運動(レクリエーション)を実施。
- ・折り鶴・パズルなど趣味を活かした活動を実施。
- ・和室にエアコンを取り付け、夏場の熱中症を予防対策。

事業の実績、成果

- ・当該高齢者が、家で閉じこもっていることがなくなり、介護保険の認定申請をするほどの認知症や身体能力の衰退が進行しないよう、元気で在宅生活が送れることが期待できる。
- ・時間に縛られることなく、自由な時間を過ごせた。
- ・家族介護者と離れる時間を作ることで、介護者のリフレッシュにつながり、認知症高齢者の虐待防止につなげられる。

工夫した点

- ・当該高齢者が現在もてる能力を維持するため、調理活動用調理器具等を購入し、おやつ等を調理しみんなで会食を行っている。
- ・体の体操・運動（レクリエーション）を実施。
- ・歩行訓練を実施。
- ・折り鶴、パズルなど趣味を活かした活動を実施。



事業の財源

- ・平成23年度の地域支え合い体制づくり事業補助金で、施設の改修、調理器具等を導入。
- ・次年度以降に係る、運営費（シルバー人材センターへの委託料）は町の一般財源。

課題

- ・利用できる対象者の把握と利用促進。

今後の目標

- ・対象者の把握と利用の促進。



団体からのメッセージ

楽しく笑いの絶えない居心地のよい居場所を目指しています。

「いきいき教室」では、仲間と話しをしたり、軽い体操や趣味を活かした活動など、自由な時間を過ごせ、笑いがたえず、利用者一人一人が主役になれる場所です。家に閉じこもって時間を過ごさず、ふらっと寄ってみてください。きっと楽しみが見つかると思います。